



ふれあいビンゴ冬

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- グループで協力しながら活動することで、仲間意識を高めることができます。
- 冬の自然の中で活動する楽しさを味わい、自然に親しむ心を育むことができます。
- CP（チェックポイント）を引率者が行うことにより、参加者との親近感をより高めることができます。

【教科への対応】 小学校：体育など 中学校：保健体育など

【組合せ可能な活動プログラム】 チューブそり遊びなど

2 活動の概要

冬山を歩きながら、グループで各CP（チェックポイント）の課題を解決しつつ、ビンゴゲームを楽しむ活動です。なお、CP（チェックポイント）には「首から課題をぶら下げた引率者」を配置し、参加者とふれあいつつ、安全管理も行う体制で実施します。

(1) 人数 80人以内

※一度に実施できるのは40人程度のため、
他のプログラムと組み合わせて実施することが望ましい。

(2) 対象 どの年齢でも実施可

(3) 期間 1月上旬～3月上旬

(4) 時間 2時間（説明・準備40分＋活動80分）

(5) 場所 自然の家活動エリア

(6) 経費 無料

(7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<活動の様子>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	帽子、手袋、長靴、冬の野外活動にふさわしい服装
自然の家	鉛筆、カードホルダー、ピブス、スノーシュー（児童生徒用、引率者用）、ビンゴカード（裏面地図）、課題（首下げ）、課題で使う用具一式、無線機（8台）

4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
スタート・ゴール	1～2名。玄関前SG場から時差式でスタートさせる。CP5の課題の運営も行う。
CP担当者	4名程度。各CPの課題を首からぶら下げて運営する。コースの道案内や安全管理も併せて行い、CP通過後は、本部に無線で連絡する。また、各CPの用具の設置と回収も行う。
パトロール	数名。コースを巡回し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール、安全管理、服装（防寒着・帽子・手袋）、スノーシューの扱い方について説明 ・スタート順とゴール後の待機場所について確認 ・鉛筆、カードホルダー、ピブス、ビンゴカードの貸出、配付 ・グループ毎に、ビンゴカードの裏面に、1～50のビンゴ数字を書き入れる。 ※CP 担当者はこの間に所定の場所へ移動し、用具等の準備をする。
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・3～5分間隔の時間差でスタート（パトロール係は巡回指導） ・各CPを回り、課題に挑戦する。 ・全CPをクリアしたらゴール。 ・全員のゴールを確認する。 ・CP担当者は用具を回収する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴカードの回収、採点、集計、順位の発表 ・ビンゴの得点がグループの得点となる。 ○数字得点（10点）…ポイントにあるビンゴ数字とビンゴ表の数字で同じものがあれば○印をつける。 ○ライン得点（30点）…○印が縦、横、斜めに一列に並んだとき。 ※「FREE」も10点に数える。 <ul style="list-style-type: none"> ・借用物品を返却（無線機は事務室へ返却）

6 実施上の留意点

- ・当日、自然の家職員と引率者全員で、事前確認を行う。（ルール、CP及びコース状況など）
- ・CPの用具の設置及び回収は活動団体が行う。
- ・CPの課題は引率者作成のものでもよい。

7 安全に実施するためのポイント

- ・荒天時は中止する。
- ・待機場所には必ず引率者が常駐し、安全管理を行う。

8 エリア地図

